

令和2年1月10日

高島市長 福井正明様

高島市環境マネジメントシステム
監査チーム

環境監査報告書

主任監査員 足立 清勝

副主任監査員 上原 幸雄

TES実施項目の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日程

令和元年11月27日(水)

2. 監査対象

本庁舎・別館・支所等：19課等

指定管理施設：5施設

計24実行部門

3. TES 監査内容

【共通実施項目監査】

① エコアクション(環境活動)部門

A101, A102, A103, A104, A105, A106, A107, A108, A109

② エコマネジメント(環境経営)部門

B101, B102, B103, B104, B105, B106, B107, B108

③ エコガバナンス(環境自治)部門

C101, C102, C103, C104, C105

④環境基本計画達成に向けた各部署の計画など

4. 総合所見

今年度のTESの監査も、市役所の職員（環境マネージャー）と共に、市民監査員が実施項目のインタビューや現場確認を行い、おおむね良い結果を出すことができました。これは職員がTESの実施内容を十分に理解し、日常業務の中で常に意識し取り組んでいるからだと思えます。

本年度の監査対象の部署、施設で、TESの取り組みがおおむね定着していることが確認できました。特に、学校や園、施設等で独自の環境の取組みをされておられますことは大変評価できます。

例えばこども園では手洗い場の蛇口に「水を出しっぱなしにしない」や「手洗いの際にも水で手を濡らし、一旦水を止めてから手を洗ってから流しましょう」という貼り紙がしてあった。小さいころから環境に対する教育を実施されていることは大変すばらしいと感じました。また、小学校ではアルミ缶回収を実施した際に混在していた分別されていないごみを通して、正しい分別についての機会を生徒に提供されていたことは大変評価できます。

スポーツ施設では、施設利用者がいないときには照明を消す、シャワーからの水を使いすぎないようにバルブを少し締める、温水プールの温度が下がらないよう利用者がいないときには保温シートを被せるなどの工夫をされていました。

そのほか各部署や施設では実行責任者が主体となって、節電やごみ減量、アイドリングストップ等環境負荷軽減の取り組みや啓発の実施、また環境学習会の実施などで自然と直接触れあう機会を設けることで環境負荷軽減への意識づくりを。また、施設のLED化や地下水を利用した冷暖房システムを整備されるなど環境配慮型にされているとのことで、ソフト面だけでなくハード面でも環境に配慮した取組みをされていると感じました。

TESがLAS-Eを経て続けていることは誇りであると思えます。今後も環境への取り組みを市民に向けて発信していければよいと思えます。

最近では環境への新しい動きとして「フードドライブ」という活動があります。食品ロスの削減と生活支援を目的に家庭で眠っている食品などを支援が必要な方や福祉施設に届ける活動です。このように、環境への取組には以前から継続して実施すべき取り組みと、時代や現状に応じて実施する取り組みを展開していくものがあり、状況に合わせて活動していくことが今後は求められると思えます。時代に応じ何か工夫されている点などについても次年度の外部監査で聞き取れるとよいかと思われます。